

# りんご生育情報(6月号)

令和7年6月20日発行

【発行】宮城県登米農業改良普及センター

電話 0220-22-6127

HP <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>

普及センターのホームページでは、過去の技術情報も掲載しています。お手持ちのスマートフォンなどで右のQRコードを読み取るとホームページへ移動できますので、ご利用ください。



## 1. 果実肥大状況

6月9日現在の「ふじ」の果実肥大状況は、タテ径 30.7mm (平年比:106%)、ヨコ径 27.8mm (平年比:103%)と平年並となっています。

表1 果実肥大調査結果 (mm)

	タテ径	ヨコ径
本年	30.7	27.8
平年値	29.1	27.0
平年比	106%	103%

※東和町の測定値。

## 2. 病害虫の発生状況

宮城県病害虫防除所が6月4日に発行した発生予報第3号では、**斑点落葉病**、**キンモンホソガ**が「多い」、**モモシンクイガ**の発生量が「やや多い」と推測されています。

表2 宮城県病害虫防除所発生予報第3号 (令和7年6月4日発行)

病害虫名	発生量	予報の根拠
斑点落葉病	多	巡回調査の結果、新梢葉における発生地点率及び発病葉率は平均より多かった。
キンモンホソガ	多	巡回調査の結果、新梢葉における発生地点率及び発病葉率は平均より多かった。
モモシンクイガ	やや多	前年の発生量が平年並だったことから、越冬量は平年並だが、向こう1か月の平均気温は高いと予報されており、20~25℃の気温が発生に好適であるため、発生はやや多いと推測される。

カメムシ類については、被害果実を見つけ次第摘果するとともに、園地への飛来数が目立つ場合は、カメムシ類に登録のある農薬の散布をおすすめします。

梅雨時期に入り、防除間隔も長くなりがちですが、天気予報を確認しながら「**降雨前散布**」を心がけましょう！

### ◆6月の重点防除対象病害虫

- ・病害：斑点落葉病、輪紋病、炭疽病、褐斑病
- ・虫害：アブラムシ類、シンクイムシ類、カメムシ類、ハマキムシ類



斑点落葉病



褐斑病



クサギカメムシ(左下:幼虫)

### 3. 今後の管理について

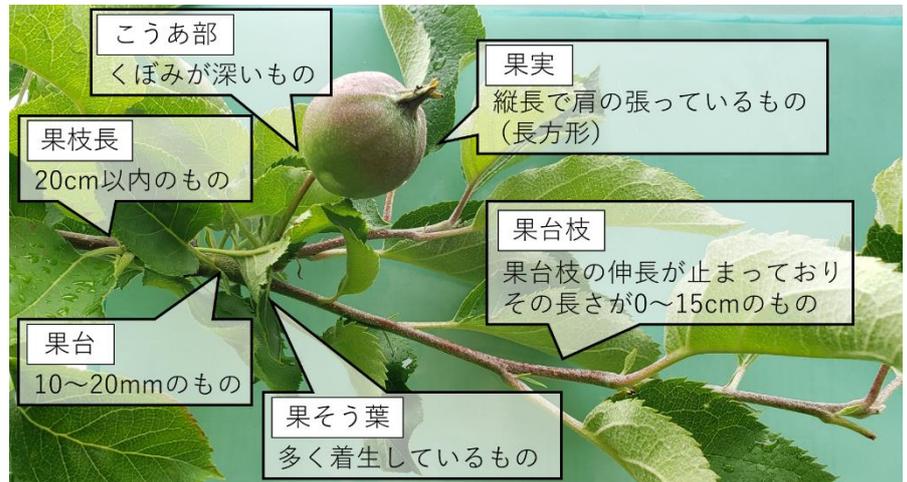
#### (1) 仕上げ摘果

##### ◆適正着果基準

品種	摘果の強さ
紅玉	3頂芽に1果
つがる、ジョナゴールド	3.5頂芽に1果
ふじ、王林、シナノゴールド、シナノスイート、ぐんま名月 など	4頂芽に1果

##### ◆残したい果実

- ・果そう葉が着生している果実
- ・中短果枝の果実
- ・縦長で肥大良好な果実
- ・果柄が太く長い果実



#### (2) 新梢管理

徒長枝は、樹冠内部や下枝の果実の受光量を低下させ、薬剤透過性も悪くなります。また、徒長枝が吸収した養分、作った物質は果実の肥大や糖度向上のためにほとんど使われないと言われているため、発生状況をみながら徒長枝切りを行いましょう。

##### ◆作業時期：6月下旬～8月始め（貯蔵養分を使いきったタイミングから始める）

※樹勢を落ち着かせることを考えた場合。

強樹勢の場合⇒1回目：6月中、2回目：8月上旬、3回目：摘葉時期

適正樹勢の場合⇒年2回（上記1回目及び2回目）

##### ◆整理方法：①その後の発生を抑える場合

⇒基部は残さずきれいに剪除する

②枝を再発生させたい場合 及び

③側枝がはげ上がりやすい品種（「つがる」、「ジョナゴールド」、「王林」等）

⇒基部を数mm残して剪除する

参考：「りんご生産指導要項 2024-2025」（公益財団法人青森県りんご協会）  
「果実日本 5月号 2020 vol.75」（日本園芸農業協同組合連合会）  
「農業技術体系 りんご編」（農山漁村文化協会）

#### 🍏 春の農作業安全確認運動実施中 🍏（3月1日～6月30日）

～スローガン「徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策」～

◆シートベルト、ヘルメット着用の徹底！

◆危険個所では原則、迂回を！

#### 🍏 農薬危害防止運動実施中 🍏（6月1日～8月31日）

◆農薬はラベルをよく読んで適正に使用しましょう！

